

完了後の評価個表

整理番号	21
------	----

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	佐賀県
地域（地区）名	佐賀 ^{さが} 東部	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等
関係市町村	佐賀 ^{さが} 市ほか 14 市町	管理主体	県、市町、森林組合、森林所有者等
事業実施期間	H23 年度～H27 年度（5 年間）	完了後経過年数	5 年

<p>事業の概要・目的</p>	<p>本地区は、佐賀県東部に位置し、佐賀市ほか 14 市町で構成され、総面積は 1,596 km²となっており、北部には福岡県と境をなす脊振山系が連なり、南部には長崎県と境をなす多良岳山系が連なっている。</p> <p>また、中央南部には、農業が盛んな佐賀平野が広がり、そのさらに南方側は、海苔養殖など多種・多様で豊富な水産資源を有する有明海に面しており、農山漁村が一体となった地域となっている。</p> <p>本地区の森林面積は 66,093ha（森林率 41%）となっており、対象民有林は、55,940ha で、うち人工林が 38,461ha（人工林率 69%）を占めている。</p> <p>また、その約 9 割がⅧ齢級以上であり、資源として成熟した齢級構成となっていることから、計画的な利用間伐等の実施を初め、その基盤となる路網の整備、森林組合、林業事業体、後継者の育成などを進め、持続可能な林業経営と地域の実情に合った森林整備を推進することが望まれる。</p> <p>林道等の路網整備を推進し、本地区内の木材の有効活用及び森林の有する水源涵養機能や土砂流出防止機能等の公益的機能の維持・増進を図るため、必要な造林と間伐等の森林整備を積極的に推進し実施したものである。</p> <p>主な事業内容</p> <p style="margin-left: 40px;">森林整備：2,585 ha</p> <p style="margin-left: 80px;">人工造林、下刈、除伐、枝打ち、保育間伐、間伐、森林作業道整備</p> <p style="margin-left: 40px;">路網整備：2,665 m</p> <p style="margin-left: 80px;">林道開設</p> <p>総事業費： 1,780,896 千円（税抜 1,618,996 千円）</p> <p>（平成 22 年度の評価時点 1,456,775 千円（税抜き 1,387,405 千円）</p>
-----------------	---

<p>① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化</p>	<p>令和3年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価で算出した総便益及び総費用と完了後の評価で算出した総便益及び総費用との差異については、労務単価の上昇や優先度の高い箇所から実行したことに伴う事業量の変動等によるものである。</p> <p>総便益（B） 12,599,961千円（平成22年時の評価時点 18,134,289千円※） 総費用（C） 3,447,133千円（平成22年時の評価時点 2,335,841円※） 分析結果（B/C）3.66（平成22年時の評価時点 7.76※）</p>
<p>② 事業効果の発現状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育間伐、利用間伐等によって2,585haの森林が整備され、水源涵養、山地保全等、森林の有する公益的機能の維持推進が図られた。また、集約化を図り、列状間伐や高性能林業機械を使用することで、より効率的な作業が行われ、木材の安定供給が図られた。 ・林道の開設によって2,665mの路網が整備され、大型トラックによる木材の運搬が可能になり、木材の生産性が向上した。 ・森林整備や路網整備事業の発注により雇用の場が提供され、地域の社会経済に貢献した。
<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林は、森林経営計画に基づき、継続して適切に管理されており、良好な管理状況にある。 ・整備された路網は、適切に維持・管理されており、間伐等の森林整備を実施する際は、草刈りや路面の補修等を行い、維持管理状況は良好である。
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<p>森林整備の実施により良好な森林が形成され水源涵養、山地保全、木材等の林産物の安定供給等、様々な公益的機能が発揮されている。</p>
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>本地区の人口は、年々減少傾向にある中で、林業就業者数は、平成17年度の158人以降は増加に転じており、40歳未満の就業者の割合についても比較的高い傾向にある。</p> <p>また、林業の現場では、効率的かつ生産性の高い高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が進められており、担い手の確保とともに高性能林業機械のオペレーターを育成していくことが求められている。</p> <p>さらに、森林整備に資する林道及び森林作業道の連結によって効率的、効果的な森林整備を推進することが必要である。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>森林の有する公益的機能の維持増進と高度発揮のため、耐久性と利便性に富む路網整備に取り組むとともに、伐採と造林の一貫作業や植え付けの作業効率の向上等の効果が期待されているコンテナ苗の導入や従来品種より成長速度が速い次世代スギ「サガンスギ」の普及により下刈回数の低減など保育作業の省力化や低コストで効率的な作業システムの確立のほか、有用広葉樹の天然更新木を活用した針広混交林への誘導等多様な森林整備を行うことが重要である。また、森林所有者に対する森林施業実施の普及啓発等を行い、積極的な森林施業の実施を促進する必要がある。</p>

	<p>地元意見</p> <p>(佐賀県)</p> <p>森林整備事業の実施により、水源涵養機能や山地保全等の公益的機能の発揮に寄与している。</p> <p>(佐賀市)</p> <p>森林の有する多面的機能が持続的に発揮されるためには、計画的な事業実施が必要であり、効果的な林内路網整備が実施されることで、森林整備が確実に実施されると認識している。</p> <p>引き続き、主伐、再造林、保育といった森林の循環利用の加速化に努め、森林の有する多面的機能の維持増進及び高度発揮に努めるとともに雇用の確保に向けた取り組みを推進していきたい。</p> <p>(神崎市)</p> <p>林業専用道の整備により、間伐等の森林整備が遅れていた箇所へアクセスが可能となり、施業コストの低減及び労力の軽減が図られ、林業活動の環境が改善された。</p> <p>(森林組合)</p> <p>森林施業の集約化により低コスト化を図ることで、森林所有者への費用負担の軽減や利益の還元が林業経営意欲の向上に繋がるため、計画的かつ効率的な施業の実施に努める。</p>
<p>評価結果</p>	<p>必要性： 間伐等の森林整備を通じて、水源涵養機能や山地保全等が図られ、地域における水源地や、土砂の流出防止等に重要な役割を果たしており、事業の必要性は認められる。</p> <p>効率性： 森林整備では現地の状況を踏まえた効率的な作業システムにより、また、路網整備では集材効率の悪い箇所に路網を開設することにより、コスト縮減が図られており、費用便益分析の結果からも効率性が認められる。</p> <p>有効性： 森林資源の現況や路網の整備状況を踏まえた計画的な事業の実施により、森林の有する多面的機能が向上し、引き続きその効果が継続されていることから、事業の有効性が認められる。</p>

※平成 22 年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：佐賀県

地域(地区)名：^{さがとうぶ}佐賀東部

(単位：千円)

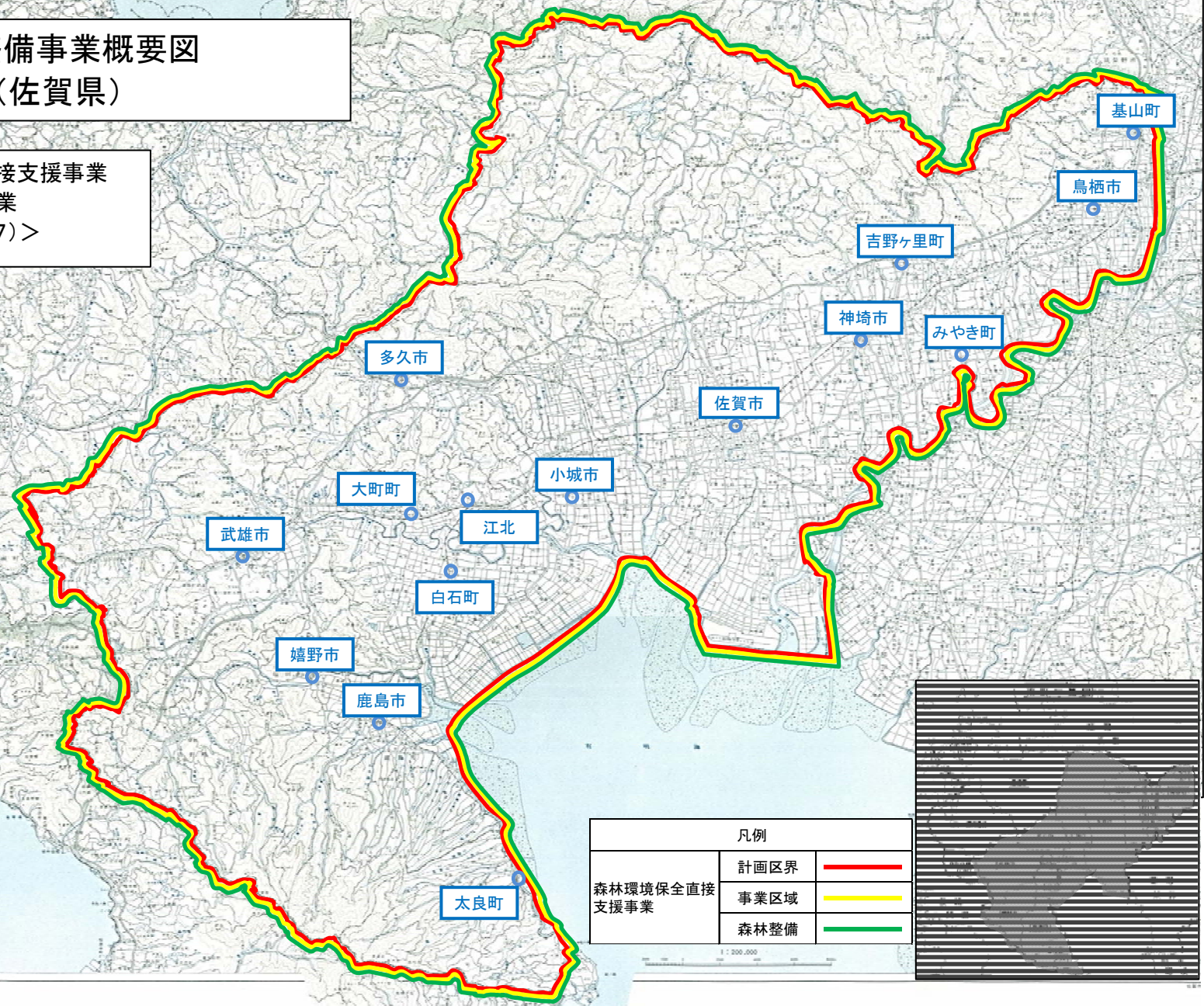
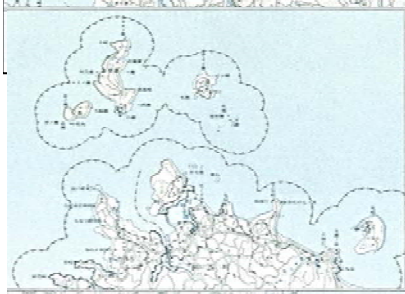
大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	2,964,370	
	流域貯水便益	1,089,094	
	水質浄化便益	4,272,427	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,265,795	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	3,999	
	木材利用増進便益	3,456	
	木材生産確保・増進便益	1,393,587	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	607,233	
総 便 益 (B)		12,599,961	
総 費 用 (C)		3,447,133	
費用便益比	$B \div C = \frac{12,599,961}{3,447,133} = 3.66$		

佐賀県管内図

森林環境保全整備事業概要図 佐賀東部地域(佐賀県)

事業名: 森林環境保全直接支援事業
環境林整備事業
<5力年計画(H23~H27)>

種別	面積(千ヘクタール)	割合(%)
計	1,234.5	100.0
環境林整備	567.8	45.9
直接支援	666.7	54.1



凡例		
森林環境保全直接支援事業	計画区界	—
	事業区域	—
	森林整備	—

1:200,000

